

AirWatch 9.2 アップデート

2018年1月11日
株式会社データコントロール

アプリとブック メニューの表示変更

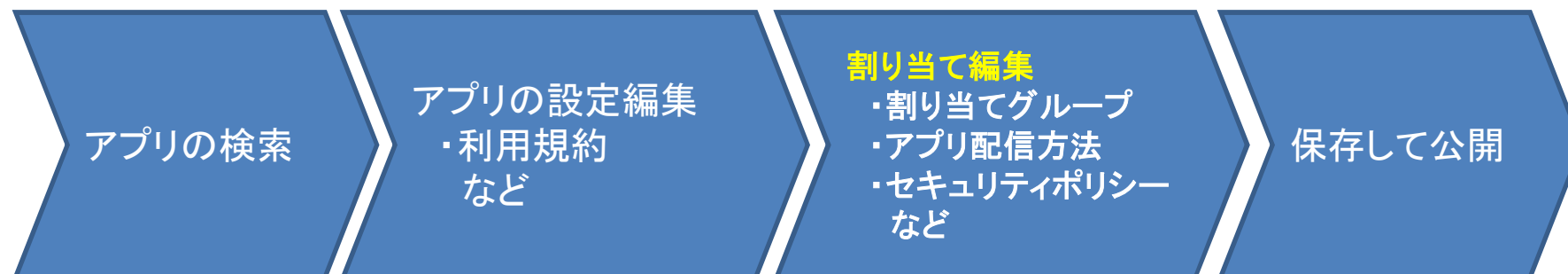
アプリとブック のサブメニューの表示が変更となりました。
AirWatch 9.1 まで「リスト表示」が、AirWatch 9.2からは「ネイティブ」と「Web」の表示となります。通常のストアアプリやVPPアプリは「ネイティブ」メニューを選択してください。



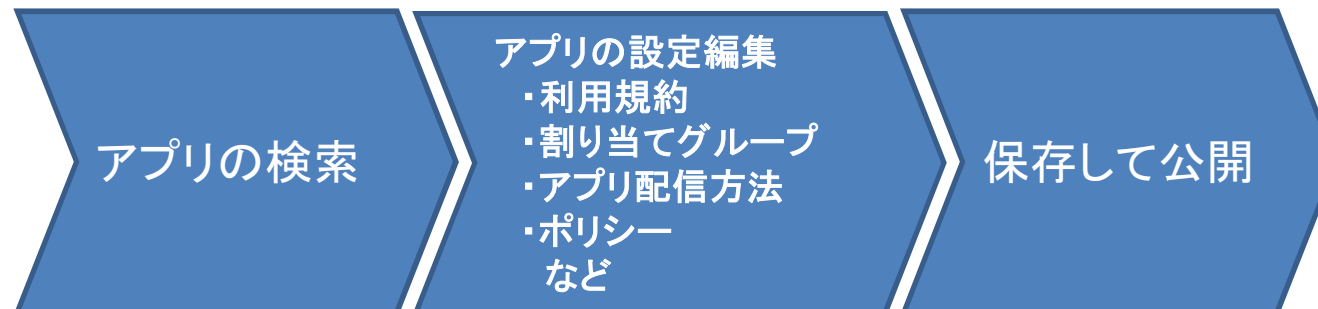
パブリックアプリ展開のUI刷新

デバイスに対してパブリックアプリを柔軟に展開できるように機能が追加されました。
この機能追加により、割り当て編集部分のUIが刷新されました。

AW 9.2 からのパブリックアプリ設定の流れ

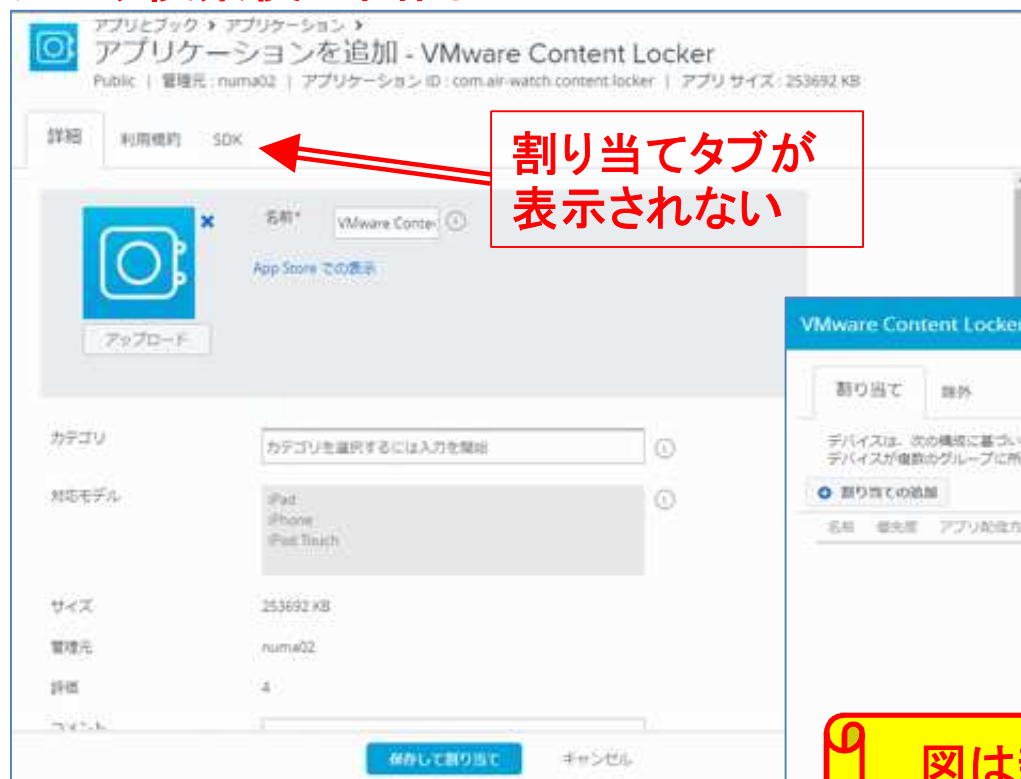


AW 9.1 までのパブリックアプリ設定の流れ

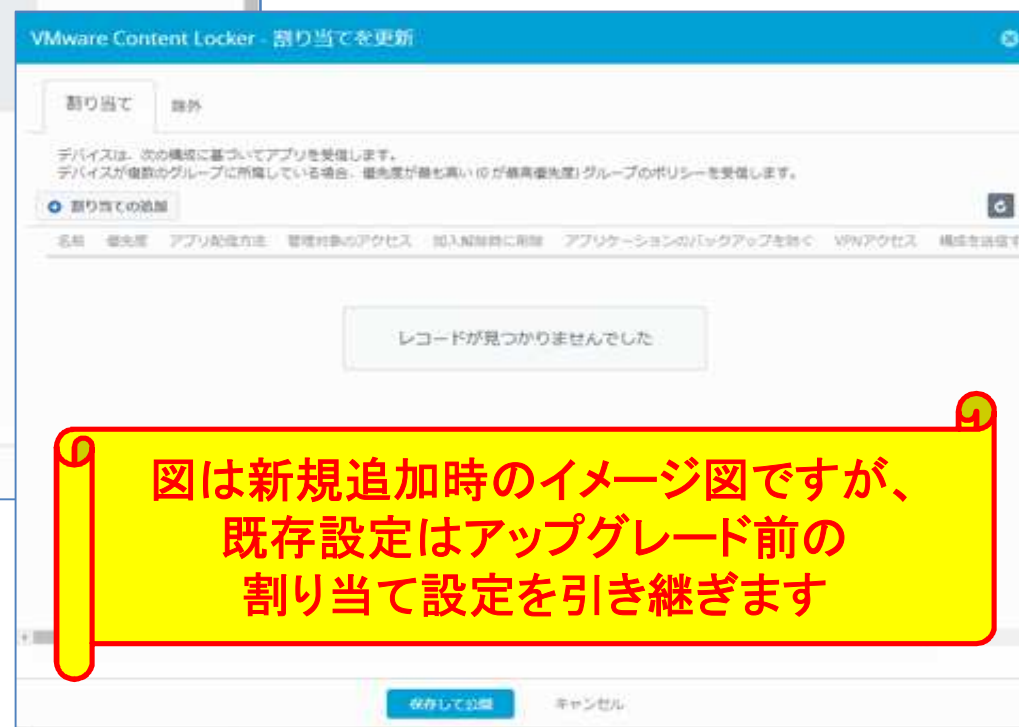


パブリックアプリ展開のUI変更点①

アプリ検索後の画面

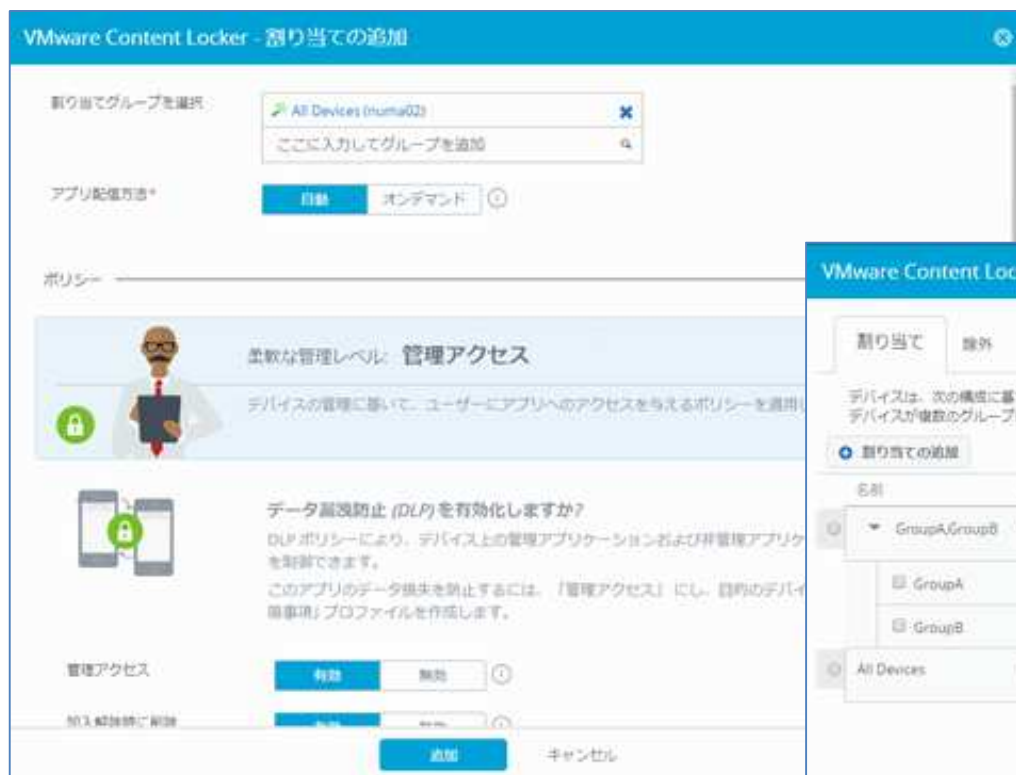


新しい割り当て画面

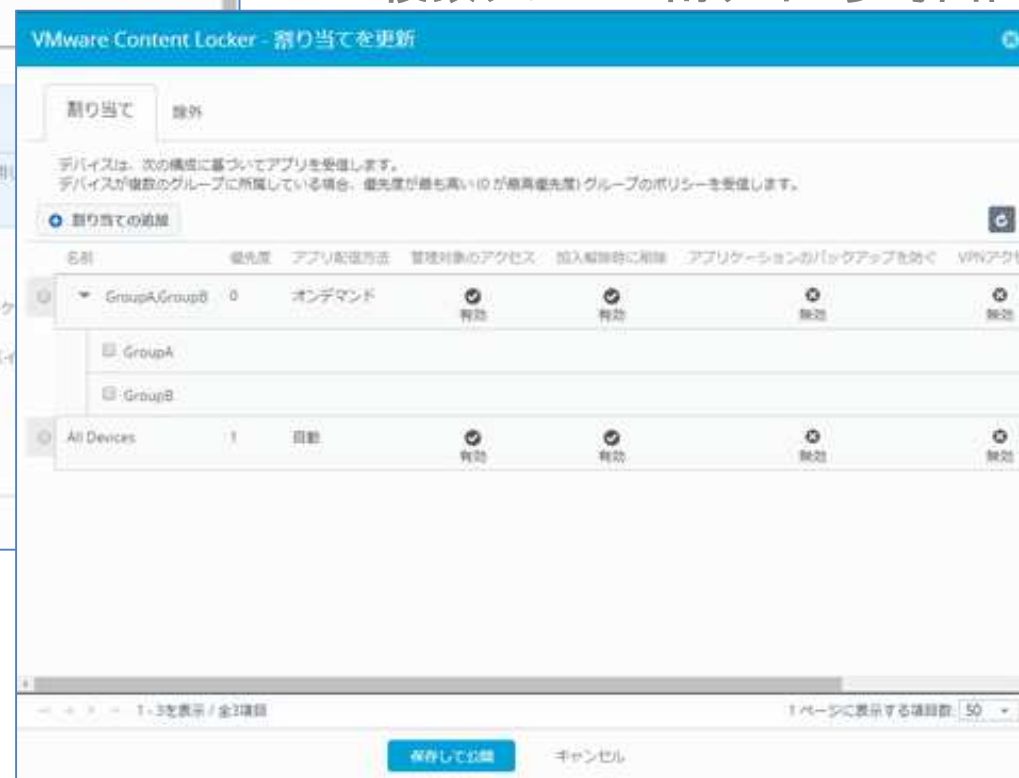


パブリックアプリ展開のUI変更点②

割り当て編集画面

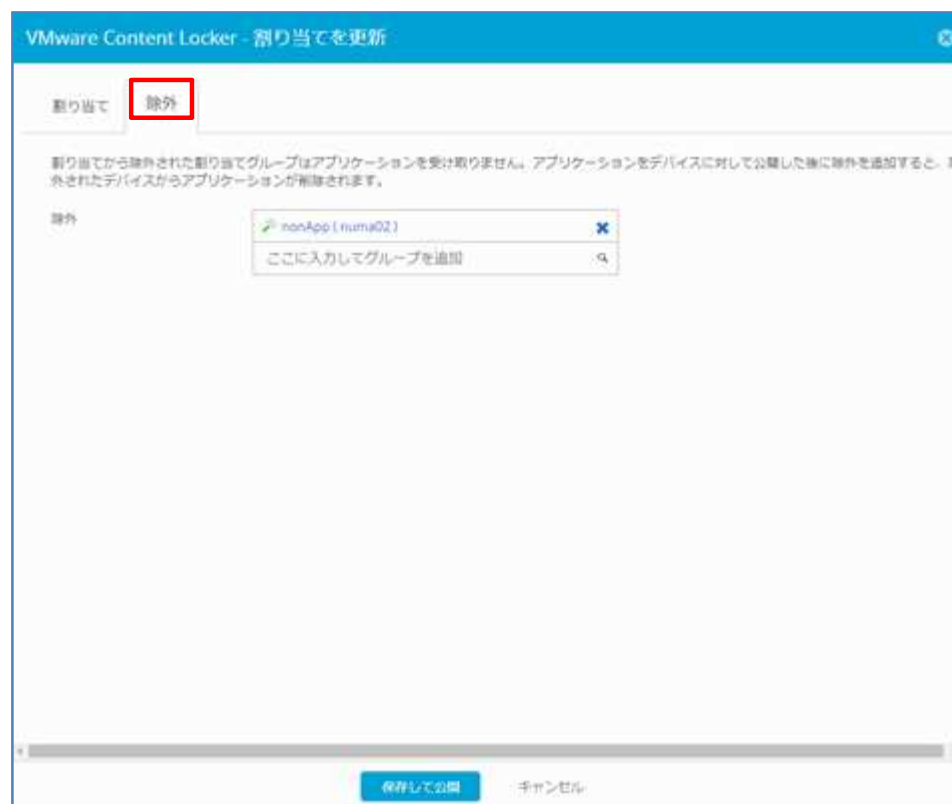


複数グループ割り当て参考画面



社内アプリ、パブリックアプリ展開の追加機能

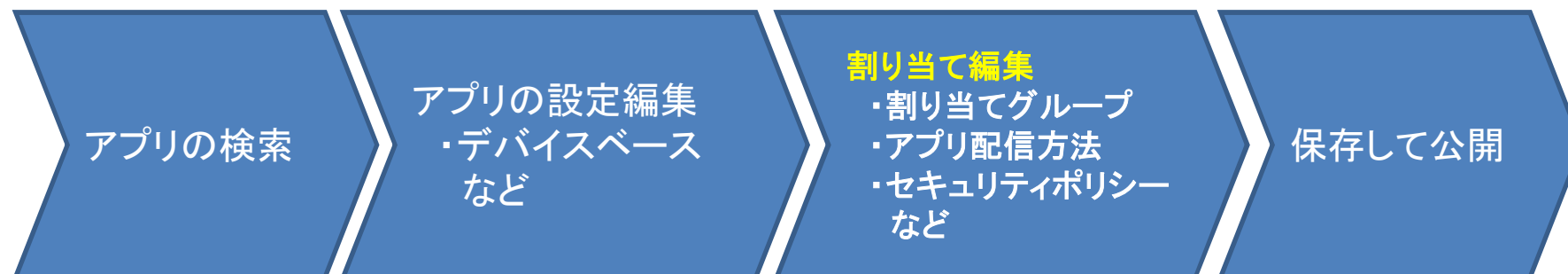
アプリ展開の割り当てから除外し、特定のグループに所属するデバイスへのアプリの非配信、アンインストールが行える機能が追加されました。



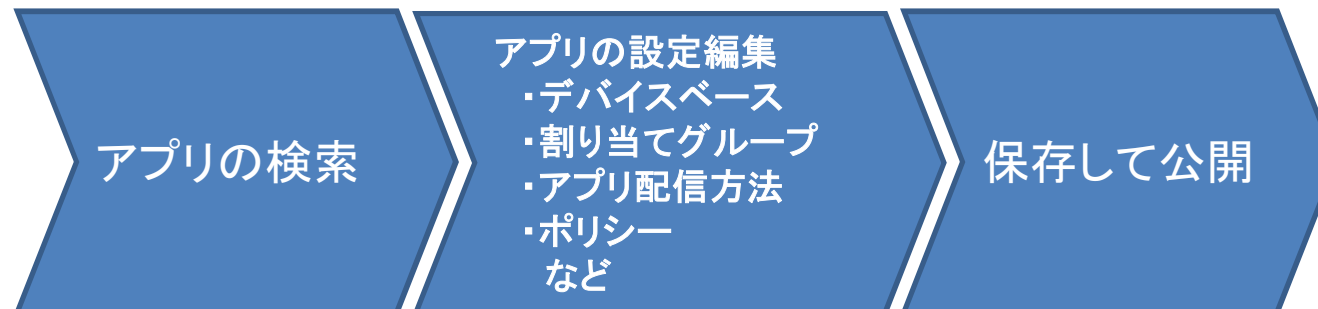
購入済みアプリ(VPPアプリ)展開のUI刷新

パブリックアプリと同様にデバイスに対してパブリックアプリを柔軟に展開できるように機能が追加されました。
この機能追加により、割り当て編集部分のUIが刷新されました。

AW 9.2 からのVPPアプリ設定の流れ

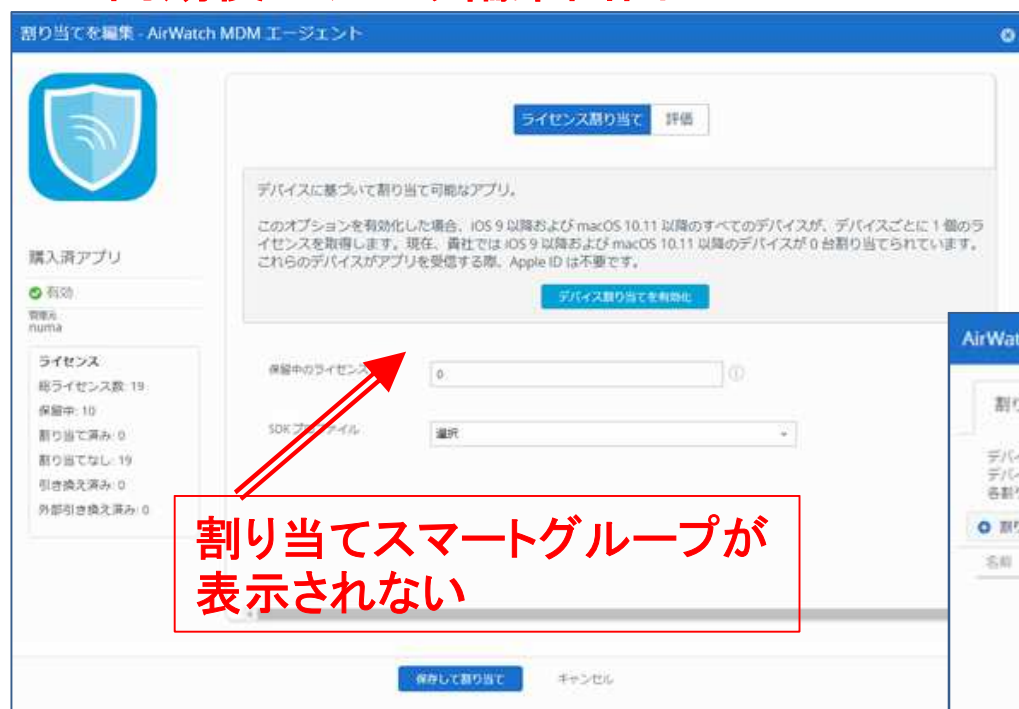


AW 9.1 までのVPPアプリ設定の流れ

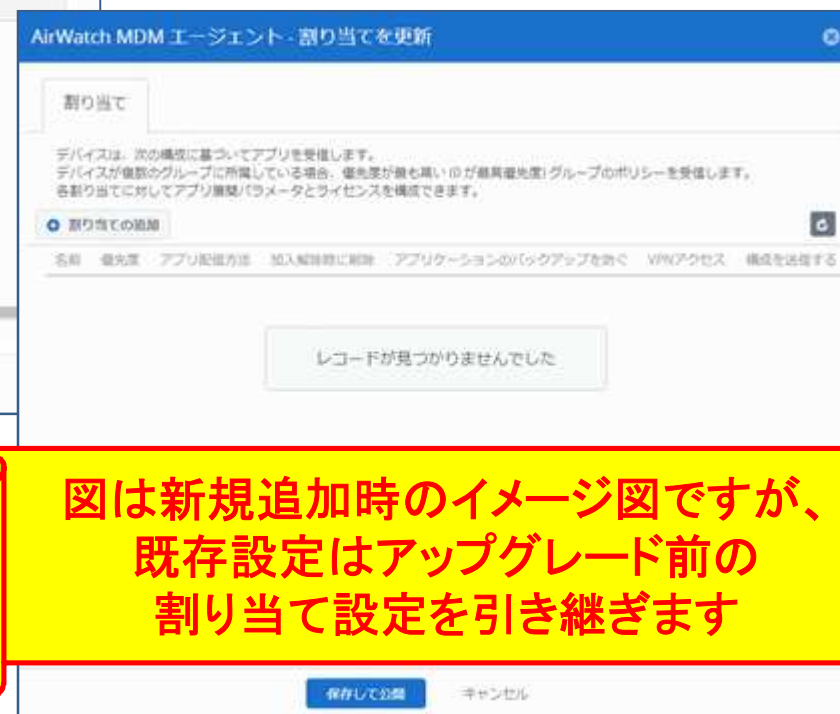


パブリックアプリ展開のUI変更点①

VPP同期後のアプリ編集画面



新しい割り当て画面



パブリックアプリ展開のUI変更点②

割り当て編集画面



グループ割り当て参考画面

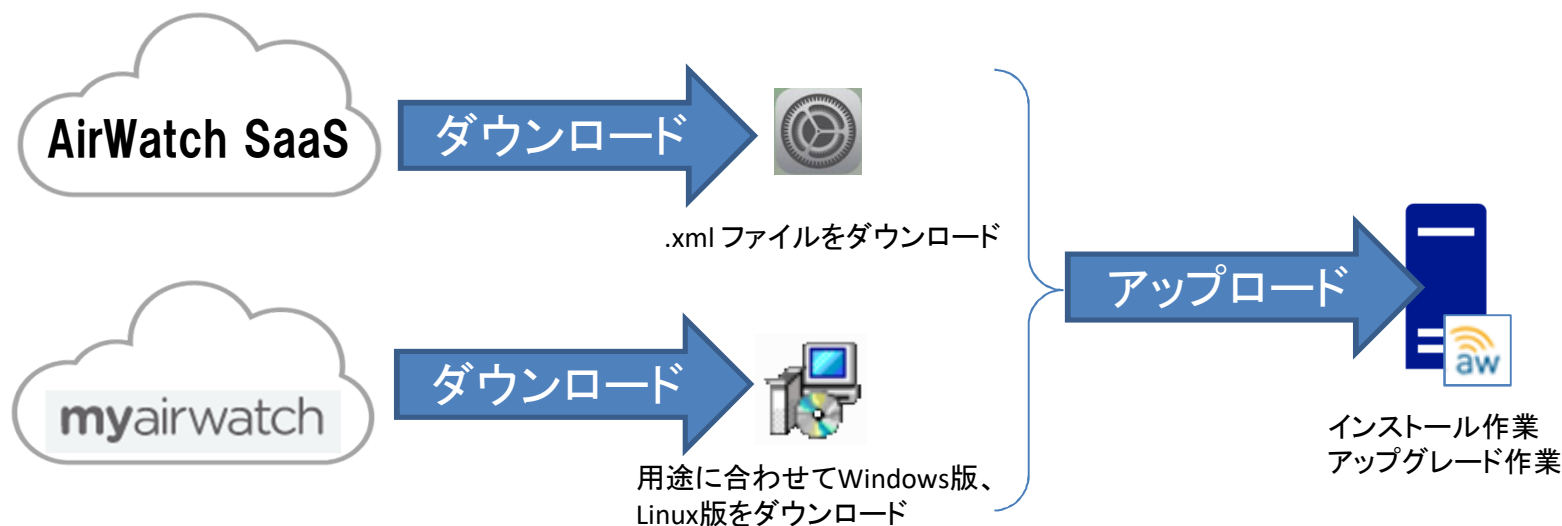


VMware Tunnel, VMware CGW の変更点

VMware Tunnel と VMware Content Gateway (CGW) のインストーラー入手先が変更となりました。

対象OSで実行するインストーラーは myairwatch(VMware AirWatchサポートサイト)から入手、各コンポーネントの構成ファイルは AirWatch SaaSからダウンロードとなりました。

お客様がご利用いただいているVMware社のアカウント情報によりインストーラーの入手方法が異なりますので、インストーラーが必要なお客様は弊社サポート窓口へお問合せください。



管理コンソールからの通知

管理コンソールの通知に機能が追加されました。

- New!** プロビジョニングプロファイル(iOSアプリ)の失効に関する通知
- New!** アプリ用APNs証明書の失効に関する通知
 - MDM用APNs証明書の失効に関する通知
 - 各種リストのエクスポートに関する通知
 - VPPアプリの自動更新に関する通知
 - ユーザーグループの融合に関する通知



AirWatch ユーザのパスワードポリシー

AirWatch で管理しているユーザのパスワードポリシーの機能が追加されました。

The screenshot shows the 'パスワード' (Password) configuration page in the AirWatch console. The left sidebar contains a navigation menu with 'システム' (System) and 'デバイスとユーザー' (Devices and Users) sections. Under 'デバイスとユーザー', the '全般' (General) section is expanded, showing options like '加入' (Add), 'フレンドリ名' (Friendly Name), '参照フィールド' (Reference Fields), 'メッセージテンプレート' (Message Templates), '通知' (Notifications), 'プライバシー' (Privacy), 'パスワード' (Password), '共有デバイス' (Shared Devices), and '高度な設定' (Advanced Settings). The main content area is titled 'デバイスとユーザー > 全般 > パスワード' (Devices and Users > General > Password). It shows the current settings for password policy, with options for '現在の設定' (Current Settings) and '継承' (Inherit) or 'オーバーライド' (Override). The '加入ユーザーのパスワード設定を有効化*' (Enable password settings for added users*) is set to '有効' (Enabled). The '適用されたパスワードの履歴*' (Applied password history*) is set to '2件のパスワードが保存されました' (2 passwords saved). The 'パスワードの最少文字数*' (Minimum password length*) is set to '6文字' (6 characters). The 'パスワードの複雑度*' (Password complexity*) is set to '大・小文字の英数字と特殊文字' (Uppercase, lowercase, numbers, and special characters). The 'サブグループの権限*' (Subgroup permissions*) are set to '継承またはオーバーライド' (Inherit or Override). A '保存' (Save) button is located at the bottom right.

システム

デバイスとユーザー

- ▼ 全般
 - 加入
 - フレンドリ名
 - 参照フィールド
 - メッセージテンプレート
 - 通知
 - プライバシー
 - パスワード
 - 共有デバイス
 - 高度な設定
- ▶ Android
- ▶ Apple
- ▶ BlackBerry
- ▶ QNX
- ▶ Tizen
- ▶ Chrome OS
- ▶ Windows
- ▶ 周辺機器
- ▶ 高度な設定

デバイスとユーザー > 全般 > パスワード ⓘ

現在の設定 継承 オーバーライド

加入ユーザーのパスワード設定を有効化* 有効 無効 ⓘ

適用されたパスワードの履歴* 2件のパスワードが保存されました ⓘ

パスワードの最少文字数* 6文字 ⓘ

パスワードの複雑度* 大・小文字の英数字と特殊文字 ⓘ

サブグループの権限* 継承のみ オーバーライドのみ 継承またはオーバーライド

保存

Apple iOS 11 追加機能のUI対応

Apple iOS 11の追加機能となる3つの制限事項がiOS構成プロファイル内に追加されました。



Android Enterprise の追加機能

Android Enterprise (旧称: Android for Work)における下記の機能に対応しました。

- AirWatch ランチャーに対応
 - Android 7 以降の制限事項に対応
 - シングルアプリモードに対応
 - 単一アプリで2種類のVPNプロファイルに対応
- 一つのアプリ設定にて、Android Enterprise 用VPNプロファイルと通常のAndroid用VPNプロファイルの設定が行えるように機能が追加されました。



Google、Android デバイス管理機能のサポート縮小を発表

デバイス管理機能と Android Enterprise の今後

Android デバイスに対するこれまでの EMM モデルでは、AirWatch Agent は Android デバイスの「デバイス管理アプリ」(デバイス管理者)として機能します。これは Android OS の要件として、Agent が EMM API にアクセスするために必要な権限です。そして Android L からは、Android Enterprise (旧名称は「Android for Work」) を使用する新しい EMM モデルが利用可能になっています。この新しいモデルでは、すべての Android OEM デバイスで利用可能な標準的管理 API 群、パブリックアプリのサイレントインストール、ビジネス向け Play ストアを利用した効率的なアプリケーション管理、BYOD ユース ケースでの個人用データと仕事用データの分離など、さまざまなメリットが得られます。

Android Enterprise の普及を促すため、Google 社は最近のアナウンスで、将来の Android OS バージョンにおいて従来のデバイス管理機能による EMM モデルのサポートを段階的に縮小することを表明しました。Android O ではデバイス管理機能モデルと Android Enterprise モデルの両方が完全なサポートの対象ですが、Android P ではデバイス管理 API は (機能はするものの) サポート対象外となる予定です。さらに Android Q のリリースで、デバイス管理機能モデルは完全に廃止され、Android Enterprise だけがサポート対象となります。

AirWatch 環境では、特にことわりがない限り、従来のデバイス管理機能による EMM モデルも引き続きサポート対象です。デバイス管理機能モデルで管理されているデバイスは、OS をデバイス管理機能をサポートしていないバージョンにアップグレードしない限り、管理対象外になることも加入解除されることもありません。

お客様へのお願い

現在利用可能な Android バージョンのうち Android L ~ Android O はデバイス管理機能と Android Enterprise の両方の EMM モデルを完全にサポートしているため、現時点ですぐに実施していただく必要があるアクションはありません。しかし、Google 社および VMware はデバイス管理機能モデルを使用している企業/組織に対し、最終的には管理対象の Android デバイスをすべて Android Enterprise モデルに移行するよう、計画し始めていただくことを推奨します。この移行においては、考慮すべき重要なポイントが 2 つあります。

1. AirWatch 環境で Android Enterprise を有効にした場合、現在デバイス管理機能モデルで加入しているデバイスが Android Enterprise モデルに移行するには再加入が必要になります。また、「Work Profile」と「Work Managed」の 2 つの加入モード、ならびにそれぞれのモードへの各種加入方法を評価し、貴社のユース ケースに最も適した加入モードと加入方法を決めていただく必要もあります。
2. Android Enterprise を使用するデバイスでは、AirWatch Agent は Android Enterprise API にしかアクセスできないため、OEM 固有の API により提供されている機能はサポートされなくなる場合もあります。これは、AirWatch コンソールからプロファイルを使って設定している機能の一部が利用できなくなることを意味します。

セキュリティポリシー(AirWatch SDK) 機能追加

セキュリティポリシー (AirWatch SDK)の機能が追加されました。

- Face IDを使用した認証に対応しました。

VMware AirWatch アプリの認証の際にTouch ID, Face ID 共に利用する事が可能です。



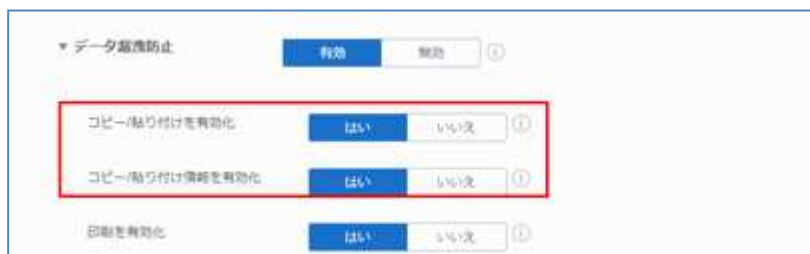
- コピー & ペーストの機能制限が強化されました。

コピー/貼り付けを有効化 (英語表記: Enable Copy and Paste Out)

AirWatch SDKを利用したアプリからコピーした情報を、他のアプリへペーストすることを制限します。

コピー/貼り付け情報を有効化(英語表記: Enable Copy and Paste Into)

他のアプリからコピーした情報を、AirWatch SDKを利用したアプリへペーストすることを制限します。



VMware Tunnel 機能追加

VMware Tunnel PerApp (アプリベーストンネル)の機能が追加されました。

- ・ コンソール上に Tunnel PerApp 用「接続のテスト」機能を追加



- ・ Proxy PAC ファイルに対応
- ・ VPNプロファイル用証明書の配布方法の変更 (iOSデバイスのみ)
AirWatch 9.1 までは、認証局から受け取った証明書を資格情報ペイロードとして構成プロファイルに組み込み iOS デバイスに配布していました。
AirWatch 9.2からは、iOS デバイスに対してSCEPペイロードを展開し、iOS デバイスが直接認証局へ証明書を取得する動作に変更されました。

AirWatch Inbox サポート期間終了のお知らせ

VMware AirWatch は 2018 年 9 月 22 日をもって AirWatch Inbox のサポートを終了いたします。現在 AirWatch Inbox をご利用のお客様は iOS/Android の各プラットフォーム向け VMware Boxer に移行することを推奨しております。

AirWatch Inbox と IBM Lotus Notes をご利用の場合：VMware Boxer は 2017 年 12 月に Lotus Notes のサポートを開始しました。Lotus Notes をご利用のお客様に対しては、サポート期間を 2018 年 12 月まで延長いたします。あわせて、VMware Boxer Lotus Notes ベータ プログラムへの参加を推奨します。ベータ プログラムへの参加方法の詳細に関しては、弊社営業担当までお問い合わせください。

Apple iOSデバイスのサポートについて

VMware 社より、Apple iOSデバイスのサポートバージョンのお知らせとなります。Apple社のiOS 10リリースによりAirWatchのサポートバージョンは下記となります。(2018年1月10日現在)

AirWatch プロダクト	サポート iOS Version
AirWatch アプリケーション Browser, Content Locker, Inboxなど	iOS 9+ (iOS 9以上)
AirWatch Agent / Container	iOS 9+ (iOS 9以上)
AirWatchのMDM機能サポート	iOS 7+ (iOS 7以上)

Androidデバイスのサポートについて

VMware 社より、Androidデバイスのサポートバージョンのお知らせとなります。AirWatchのサポートバージョンは下記となります。(2018年1月10日現在)

AirWatch プロダクト	サポート Android Version
VMware AirWatch Agent	Android 4.0+ (Ice Cream Sandwich)
VMware Boxer	Android 4.2+ (Jelly Bean)
VMware Browser	Android 4.0.3+ (Ice Cream Sandwich)
VMware Content Locker	Android 4.0+ (Ice Cream Sandwich)
AirWatch Inbox	Android 4.0+ (Ice Cream Sandwich)
AirWatch Tunnel	Android 4.4+ (KitKat)
AirWatch Container	Android 4.4+ (KitKat)

AirWatch 9.2 リリーススケジュール

弊社提供のAirWatch SaaSは下記日程でアップグレードを実施する予定です。

作業内容: AirWatch 9.2 (AW 9.2.2) へのアップグレード作業
日程: 2018年1月18日 午前 0時～

ありがとうございました。

※各社各種ロゴは各社の商標または登録商標です。